

計画事業番号	00057	事務事業名	保育園一時預かり事業	担当部署	保健福祉部 子育て支援室保育課	電話	801
--------	-------	-------	------------	------	--------------------	----	-----

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	児童福祉法第6条の3第7項、子ども・子育て支援法第59条第10号、北広島市一時預かり事業実施要綱			
事務事業開始年度	平成15年		個別計画等	北広島市子ども・子育て支援プラン			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章) 支えあい健やかに暮らせるまち						
	(第 3 節) 子育て支援の充実						
	(施策 1) 子育て環境の充実						
2 対象	平日:1歳6ヶ月から就学前までの集団保育が可能な児童のうち、児童福祉法第24条第1項の規定による保育の実施の対象とならない児童 休日:1歳6ヶ月から就学前までの集団保育が可能な児童						
3 目的と内容	保護者の労働、急病、育児疲れなどによる一時的な保育需要に対応し、地域の子育て支援の充実を図るため、保育所において一時保育を実施する。						
4 実施内容(手段)	27年度まで	平成15年6月から次の事業を市立すみれ保育園で実施 ①非定期型保育サービス事業(保護者の短時間・不定期勤務に対応する保育) ②緊急保育サービス事業(保護者の疾病・入院等に対応する保育) ③私的理由保育サービス事業(趣味やリフレッシュなど私的理由に対応する保育) ④休日保育事業(就労のため日曜・祝祭日に保育に欠ける世帯に対応する保育) ※休日保育はH23から開始					
	28年度	昨年度と同様に、次の事業を市立すみれ保育園で実施 ①非定期型保育サービス事業(保護者の短時間・不定期勤務に対応する保育) ②緊急保育サービス事業(保護者の疾病・入院等に対応する保育) ③私的理由保育サービス事業(趣味やリフレッシュなど私的理由に対応する保育) ④休日保育(就労のため日曜・祝祭日に保育に欠ける世帯に対応する保育)					

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
一時預かり事業(平日保育及び休日保育)の実施	一時保育(平日)延べ659名 一時保育(休日)延べ163名	一時預かり事業(平日保育及び休日保育)の実施		一時預かり事業(平日保育及び休日保育)の実施		一時預かり事業(平日保育及び休日保育)の実施	

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性			評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。			「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	ほぼすべての実施日で利用があり、通常の保育の実施を利用できない児童に対する支援として有効であるため継続実施とする。			
2次評価	現状継続	現状継続とする。			

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			5,996	6,655	6,508	6,508
事業額	直接事業費	国支出金	527	946	946	946
		道支出金	527	946	946	946
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	1,225	2,163	1,912	1,912
		一般財源	3,717	2,600	2,704	2,704
		① 合計	5,996	6,655	6,508	6,508
	人件費	② 人数(年間)	0.30	0.30	0.30	0.30
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	2,700	2,700	2,700	2,700
総事業費①+④			8,696	9,355	9,208	9,208

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①年間延べ利用児童数	人	1200	1000	1000	1000
		目標値				
		実績値	822			
	②	目標値				
	実績値					
	③	目標値				
	実績値					
	④	目標値				
	実績値					
成果指標	① 利用1件当たりの経費	円	7,246	9,355	9,355	9,355
	総事業費/年間延べ利用児童数	実績値	10,579			
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	保育の実施の対象とならない児童や市内保育施設の休園日である休日において、必要とする一時的な保育を受けられることは子育て支援施策として有効である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	利用人数は減少傾向にあるが、ほぼすべての実施日で利用されていることから、成果は上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	休日保育の利用条件を拡大することで、利用者数が増加する見込みはある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	大部分が保育士配置に係る人件費であるため、コスト削減の余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--